（別紙４（２））

事業所名　シティ・ホーム　神松寺

作成日：平成　２８　年　２　月　１０　日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	法人理念は全体朝礼で唱和しているが、職員が作ったホームの独自の理念は、職員一人ひとりが完全に理解するまでには至っていないので、機会ある毎に、ホームが目指す介護の在り方を示した理念を話し合っていく。	職員会議や毎日の申し送り時の中で、ホーム独自の理念を唱和し、理念の意義を理解し毎日の介護の指針として、実践できるように取組み、結果を常に顧みながら、介護サービスの提供に取り組んでいく。	１２ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	地域の祭りや行事に参加することもあるが、グループホームの存在と認知症について地域の方に理解して貰うための啓発活動に取組み、独居老人や、老々介護の方の安否確認等を地域の方と協力し、相談事業に繋げていく。	自治会との関係は少しずつ広がっているが、日々の地域の方達との関わりはないので、地域を担当する職員を決めて、行事や活動に準備段階から参加し、地域から頼れるグループホームとして信頼関係を築いていく。	１２ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。